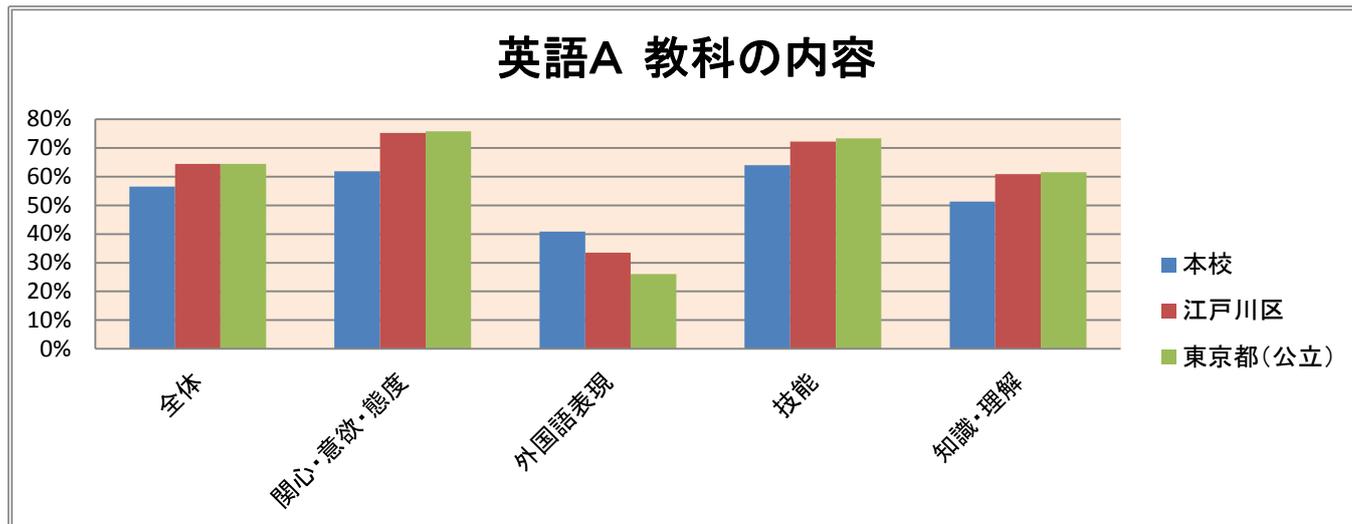


1. 分類ごとの平均正答率

(1)英語A: 教科の内容

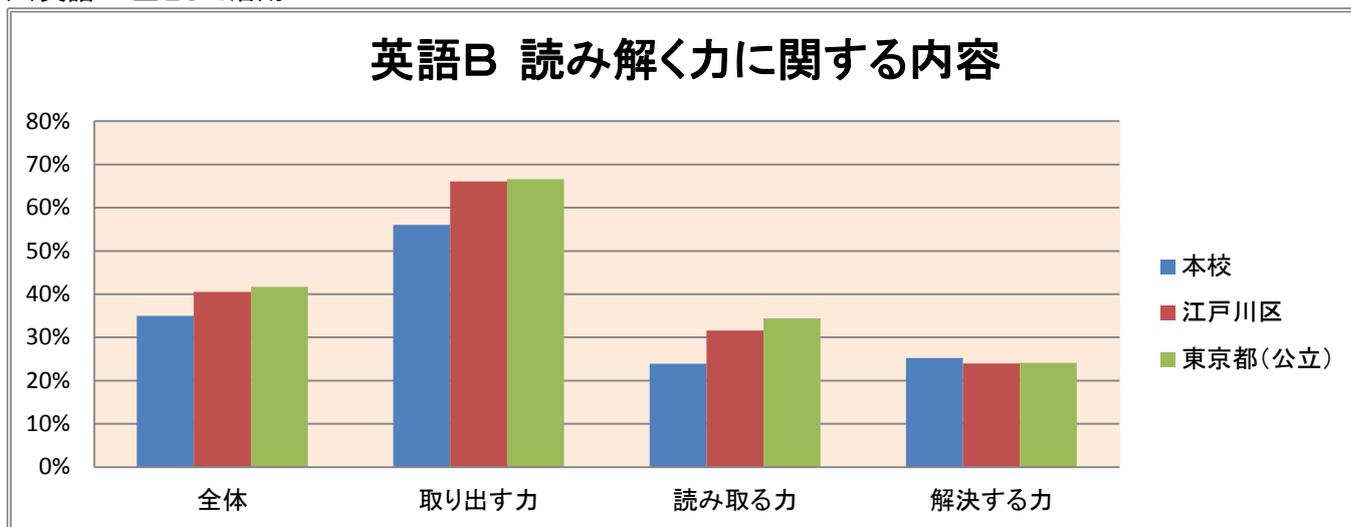


・「外国語表現」が14.8ポイント上回っている。習熟度別学習でのペアワークの充実や暗唱など「読む」ことに重点をおいた成果か。

・一方で、「関心・意欲・態度」が都より13.9ポイント、「知識・理解」が10.3ポイント、技能は9.4ポイント、全体としては8ポイントも下回っている。

・基礎力の伸長を目標に、学習コンテストを定期的に行っていく。

(2)英語B: 主として活用



・「解決する力」が1.1ポイント上回っているが、その他の力はすべて下回っている。

・学習重点週間の質問教室を実施、また適度な課題を与えて基礎力をつける必要がある。

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

(リスニング問題のポイント)

- | | | |
|---|--|-----------|
| 1 | ①英文を音読することができるようになること。(聞き取りやすくなります) | 正答率:42.2% |
| | ②教科書本文の音読やペアワークなどを通して、依頼や許可の表現を練習すること。 | |
| 3 | ③場面を想像しながら聞き取ること。 | 正答率:29.4% |
| | ④細かな情報を聞き取る際に、メモを取りながら聞き取ること。 | |

10 前置詞(inやonなどのこと)の意味や使い方を理解すること。正答率:40.4%

11 時間を表す単語(yesterday、nowなど)の意味を理解すること。正答率:37.6%

12 現在形、現在進行形、過去形の文の形を、例文を通して理解すること。正答率:33.9%

13 大文字で始める、ピリオドを打つなど、英文を書くときのルールを理解すること。正答率:33.9%

14 つづりを間違えた単語は、読んだり書いたりしながら練習すること。正答率:47.7%

- | | |
|---|------------------------|
| 15 代名詞(heやsheなど)が、誰・何を指しているのかを」意識して英文を読むこと。 | 正答率:32.1% |
| 16 場面を考えながら全体を読むこと。 | 正答率:46.8% |
| 21 英文をしっかり音読し、語順を覚えること。
・「(How many+名詞～?)」、「What+名詞～?」の文の形を理解すること。 | 正答率:36.8%
正答率:34.9% |
| 24 4つの評価項目の一つずつ正対して英文を読むこと。
一つのテーマに対して、まとまった量の英文を読んだり書いたり練習をすること。 | 正答率:33.0% |
| 25 書きたいことの内容とすでに書いてある英文を比べて、書かなければならない英文を書くこと。
一つのテーマに対して、まとまった量の英文を読んだり書いたりする練習をすること。 | 正答率:25.7% |
| 26 長い文章から、必要な情報「I like children.」に気を付けて読むこと。 | 正答率:33.0% |
| 27 曜日と「I can't work on～.」「I can't go～.」に気を付けて読むこと。 | 正答率:14.7% |
| 28 パンフレットの項目を理解し、4人の条件に合うものを選ぶこと。 | 正答率:24.8% |

正答率が50%に満たないものを挙げた。

26年度と比較すると、極端に正答率が低いものが少なくはなっているが、項目数は増えている。